

# 県民の「いのちの水」を売り渡すな!

上下水道3事業の運営権を民間企業に売却する「みやぎ型管理運営方式」、たった6回の住民説明会の217人の参加をもって、宮城県は説明を尽くしたとして6月議会に運営権設定の議案を提出。天下みゆき議員は6月25日の一般質問で、その問題点をただし議案の取り下げを求めました。

## 問題だらけの みやぎ型管理運営方式

### ① 浄水場等の管理運営を仕切るのは外国資本のヴェオリア

優先交渉権者となったメタウォーターグループは、特定目的会社（以下、SPC）を設立するとともに、浄水場や浄化センターの運営管理業務を委託する会社（以下、OM会社）を別会社として立ち上げました。そしてOM会社は、議決権株式保有割合が51%だったヴェオリア・ジエネットが仕切り、20年以上、将来にわたって宮城県での影響力を強めようとしています。

### ② 情報公開に耐えられない取扱規定

SPCが提出した情報公開取扱規程は、「企業経営上の正当な利益を害するおそれがあるもの」は不開示としている。これでは、SPCが「おそれがある」と判断すれば、いくらでも開示を拒否できるのではないか。

#### ■公営企業管理者

不開示判断がなされた場合は不服申し立てが可能で、妥当性の判断は、親会社の法務部門や顧問弁護士が行い、客観性を担保した対応がなされる。

「おそれがあるもの」について答えていない。また、顧問弁護士は、会社の利益擁護の代弁者だ。このままの規定では情報公開に耐えられない。

### ③ 更新投資削減の根拠を示す計画書はできていない

そもそも県は2018年3月に行った試算で、今後20年間で、管路等が1080億円、設備が880億円、合わせて1960億円の更新投資が必要と説明していました。ところが、今回のコスト削減額は、結局、管路の更新投資は約6割に減り、設備投資が半額になりました。おまけに県は「管路の本格的な更新は20年間行わない、ピークは30年後から40年後だ」と言っています。

#### 天下県議

20年間の契約期間終了後に、更新投資が大幅に増加し、水道料金の上昇につながることはないか。

#### ■公営企業管理者

事業終了時に、開始時と同等の健全度を維持することや、経営審査会で5年ごとに行う改築計画書の見直しについて審議しながら進めるので、多額の更新費用

が発生することはない。

#### 天下県議

改築計画書や健全度調査計画書はまだできていない。今回、運営権を設定することは、更新投資の根拠を示せないまま決めることになる。

### ④ 議会審議から外れ、下請け業者買いたたきの恐れも

みやぎ型に移行すると、水道事業は県の予算・決算から抜け、監査対象からも外れ、県議会の議決が5年に1回の料金改定時のみとなります。県は対応策として、毎年、県議会に報告する旨の条例案を今議会に提出しましたが、あくまで「報告」でしかありません。

天下議員は、「みやぎ型」への移行は、主権者である県民の参加と監視という民主主義の大事なしくみを壊すものだとして厳しく批判しました。

また、SPCが行う契約は、「民間と民間」との取引となります。

#### 天下県議

関連企業への高値発注や、下請け工事業者の買いたたきが横行する懸念がある。

## ねらいは民間企業の ビジネスチャンス

天下議員は、2017年3月に東京で村井知事が行った講演から、知事が「とにかく民間事業者のやりやすいようにすることや、事業スキームの構築はスピード感をもって一気に行うこと」を最初に指示したこと、また、「みやぎ型」実現の意義として「民間事業者の新たなビジネスチャンスの創出」と述べ、市町村への展開を検討する理由は「水源から蛇口までを一体管理することにより民間の投資対象として魅力が増すため」と述べたことを追求しました。

#### 天下県議

決定的に知事に欠けているのは「県民参加」と「県民の視点」だ。今回、請願署名が1万9449人分出されているが、どのように

るが、どのようにチェックするのか。

#### ■公営企業管理者

SPCが法令違反した場合には、県は実施契約書に基づき是正を求めることができる規定としている。

法令違反のチェック方法については、答えられませんでした。

### ⑤ 資格取得で虚偽申告

メタウォーターサービスが2019年2月4日に、水道施設管理技士の資格を持つ社員264人のうち、116人の資格取得に必要な現場実務経験を実際より多く申告している、日本水道協会から厳重注意を受けて、該当職員は資格を取り消されていたことがわかりました。

#### 天下県議

資格取得の虚偽申告をするような会社が入っているところと契約してよいのか。

#### ■公営企業管理者

把握していないが、適格条項を調査し、適正であると判断している。

#### 天下県議

意味がわからない。再度チェックすることを求める。

### 受け止めるか

#### ■村井知事

全ての県民でなく、1万人超えの人が疑問を持っていると受け止めている。非常に多くの県民が理解している。

#### 天下県議

県民の多くは内容を知らず、このまま強行すれば後世に禍根が残る。議案は取り下げ、県民への十分な説明とパブリックコメントの再度の実施を求める。



天下みゆき県議の一般質問

日本共産党  
県議団ニュース  
速報版  
2021年6月 第47号  
発行：日本共産党宮城県議会議員団  
(控室) TEL 022(211)3523  
FAX 022(268)6093  
E-mail: info@jcpmk.jp